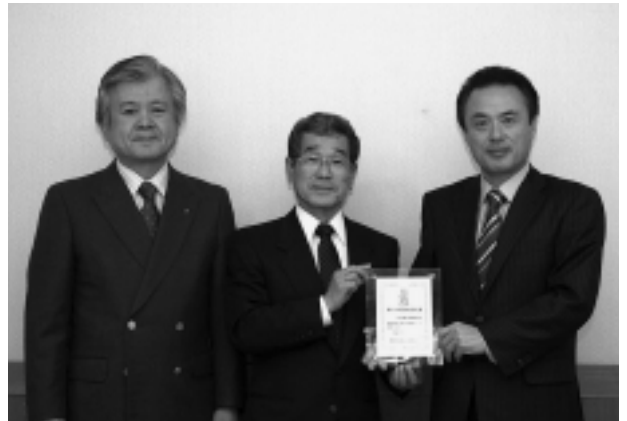


## 📷 埼玉県黒おび商店街に認定されました

2月24日(水)、仲町商工振興会の藤田 康之会長（写真：中央）と渡辺 栄 副会長（写真：左）が富岡市長を訪問し、埼玉県黒おび商店街認定の報告が行われました。

仲町商工振興会は朝霞駅東口にある商店会で、ホームページの開設や仲町ふれあいアート&ハートまつりをはじめとした積極的な活動を通しての商店街の活性化を図ったことなどが認められ、2月10日(水)に埼玉県から朝霞市内では4番目となる「埼玉県黒おび商店街（元気な商店街）」の認定を受けました。



## 📷 救急活動シミュレーションを実施しました



1月19日(火)～21日(木)の3日間、埼玉県南西部消防管内の4消防署で、救急活動シミュレーションを実施しました。

このシミュレーションは、救急隊員の知識・技術の向上を図ることを目的に毎年1回開催しています。今回は、救急隊9隊（計27人）が、交通外傷によるドクターヘリ要請、アナフィラキシーショック患者へのアドレナリン投与、意識障害を呈する患者へのPCEC(※)による判断、対応、処置などの想定付与のもと、現場出動から病院搬送までの流れを訓練しました。

このような日ごろの訓練を現場に生かして、今後とも、より一層の救命率の向上に努めていきます。

※PCEC（ピーセック）とは、日本臨床救急医学会による、意識障害を呈する傷病者の観察方法、病態判断と処置、搬送のタイミングと医療機関選定についての標準化を目指したものです。

## 📷 屈折はしご付消防自動車を導入しました

平成22年1月、埼玉県南西部消防本部は新座消防署に配備する屈折はしご付消防自動車を導入しました。

今回導入した車両は、3段ブーム伸縮式屈折はしご付消防自動車で、130リットル水槽付高圧噴霧消火装置および高照度メタルハライド照明装置などを有しています。

従来の直進式はしご車と比較して車体寸法が小さく、障害物の回避性能に優れる屈折式はしご車は、消防本部管内の高低差のある地域や道路の狭い地域での消火・救出など、あらゆる災害活動に対応できる車両となっています。

